



食料農業農村政策審議会企画部会

OK's DELICA.INC



オーケーズデリカ株式会社(三重県桑名市)

会社概要・沿革

代表取締役社長	杉本香織
資本金	5000万円
従業員数	213人 (内170人パート)
個人創業	1976年10月
設立	1986年 4月
社名変更・移転	2005年12月
HACCP高度化基準認定	2006年1月
関連会社	(株)菜友



OK's DELICA .INC

事業内容

給食・弁当製造販売

1日合計
12,000食



学校給食：4,500食/日（3市40校）



産業給食：6,000食/日（1000社）



介護食：1,500食/日（60施設）

本社工場

2006年

HACCP

高度化基準認定

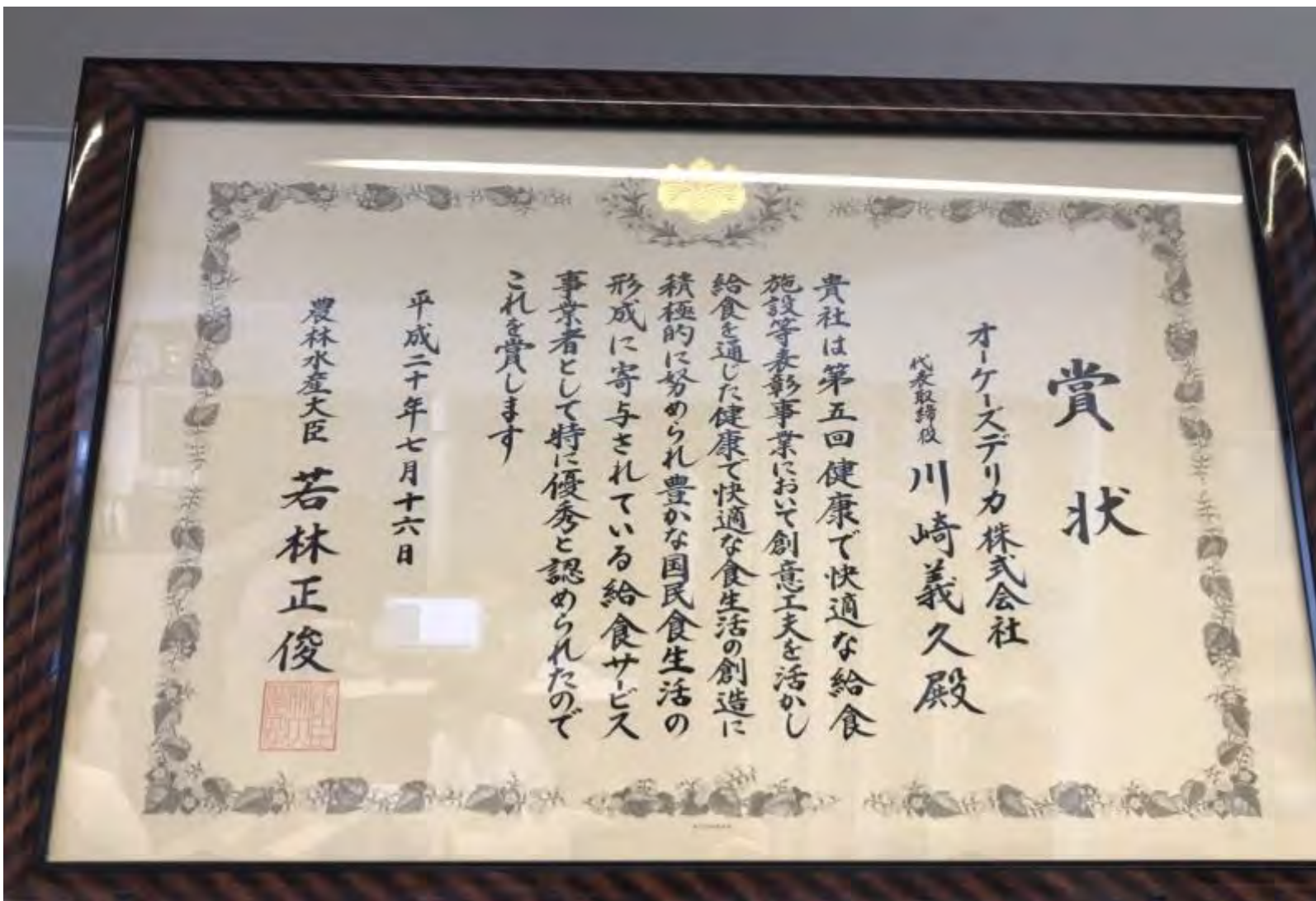
2007年

ケーリング業界初

ISO22000取得



2008年 農林水産大臣賞受賞



直面する課題

【仕事は多いが人手不足で作れない】

- ・最低賃金毎年アップ
- ・働き方改革
- ・労働人口減少
- ・ゆとり世代
- ・食材高騰
- ・顧客の要求レベルが高い
- ・ライバルとの価格競争

→結果、経営環境の悪化で利益が出ずらくなり
給与に還元できないので中小企業に応募がない



(株)菜友 全国の学校給食に特化したお手伝い デリバリー方式の選択制中学校給食 予約注文と集金業務(システム&運用)

MESSAGE 採用メッセージ



世界の給食に
新しい風を起こそう

インターネット型

献立作成システム「献立ひろば」のご案内

NEW



学校給食専用
献立ソフト

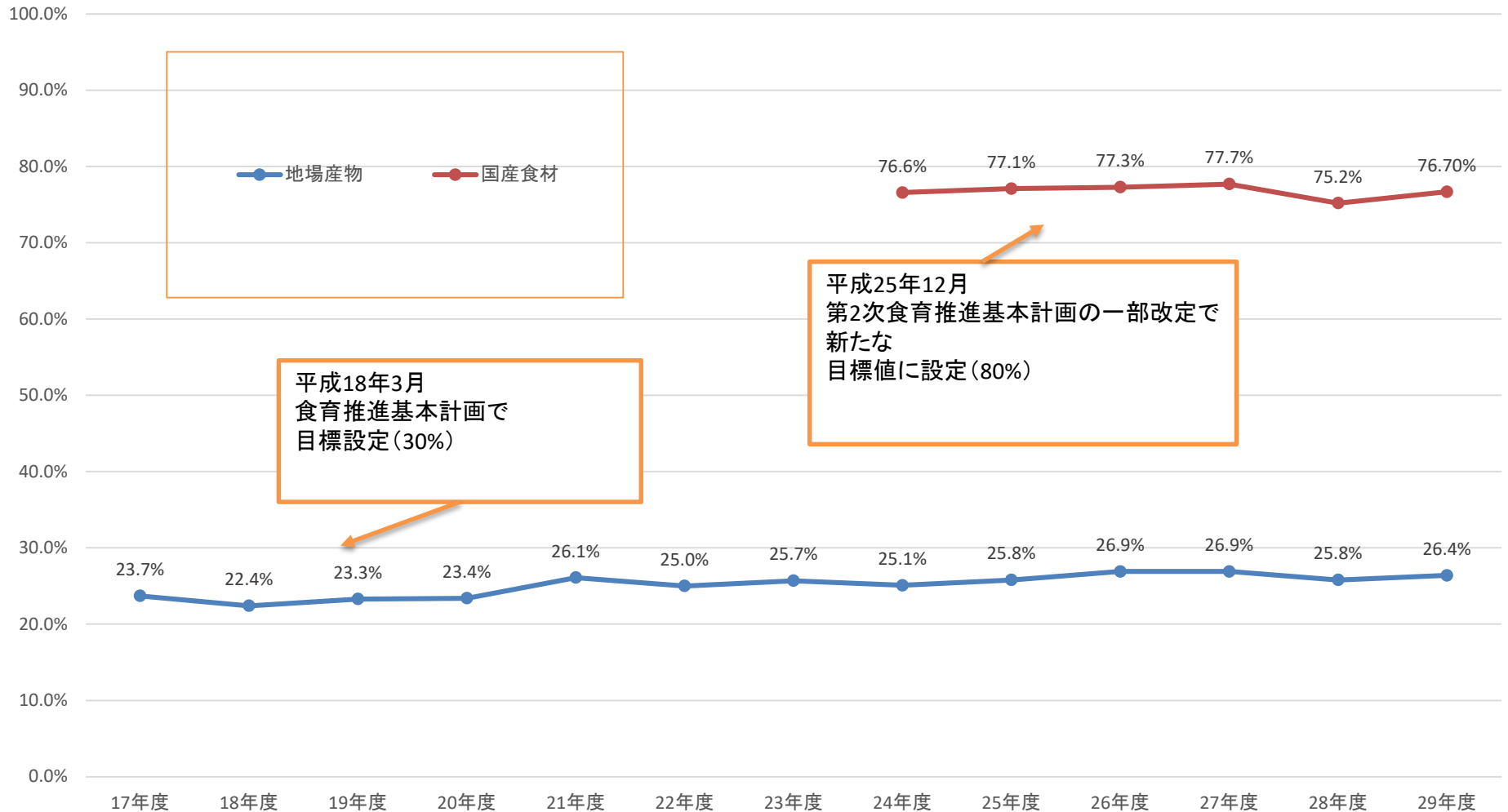
学校給食
栄養士専用
コミュニティ
サイト

全国の栄養士のためのコミュニティ

給食ひろば



学校給食における地場産物・ 国産食材活用状況の推移



第3次食育推進基本計画における 数値目標の達成状況



【学校給食(文科省)がコミットしているもの】

朝食を欠食する子供の割合

学校給食における**地場産物**を使用する割合

学校給食における**国産食材**を使用する割合



旬の魚を冷凍し年中地場産物を提供



トンネルフリーザー



三重県伊勢市 (株)山水フーズ様

弊社での農産物の使用と残渣

【大量調理での農産物の使用】

- 農産物(生鮮)年間220t 内国産120t
- (冷凍)年間350t 内国産 7t
- 学校給食での地場産物の割合
生鮮野菜 年間660kg(葉物中心)
- 食品残渣量 年間 400t
(食べ残し、見込み生産による製造ロス)

なぜ地場産物の割合が増えないか

- 価格が高い
- 安定供給ができるか不安
- 献立の変更ができない
- 量が確保できない
- 都道府県によって差が出る



→給食費の値上げが必要



過去10年間の給食費の推移

平成30年 平成28年 平成26年 平成24年 平成22年 平成20年

小学校 1食 250.1円 250.2円 246.0円 239.6円 239.4円 232.9円

中学校 1食 292.2円 291.5円 285.6円 280.6円 279.9円 270.7円

※消費税5%→8% 平成26年4月

給食費値上げ価格（10年間）

小学校10円 中学校13.1円(増税分除く)



このお弁当の価格はいくらでしょう？
(ご飯別付き、配達料・消費税込み)

Food is Life



OK's DELICA .INC

食べ物に適正な値段を支払うこと

【消費者と小売業の責任】



・消費者は要求が多すぎる

安くて、美味しくて、安全で、見た目が綺麗で、早くて便利で、栄養のあるものが欲しい

・大手小売業が価格を下げすぎる

自社だけの集客の為に全体を考えない
デフレスパイラルに陥る

価格は安いのにメーカーへの要求は高い

子供が野菜を食べない現状

学校教諭も児童生徒に「残すな」、と指導できない



→親への食育が必要

全体の課題

- どうすれば、「食べること」をきちんと考えてもらえるか？
- どうすれば、野菜中心の健康的な食事をとってもらえるか？
- どうすれば、国産野菜の消費が増えるか？

→大人の食育が必要





OK'S DELICIA INC

経営理念

Food is Life

(食べることは、生きること)

最後に・・・

- 日常の食事をよりよくしたい
- 現代の社会問題も解決したい
- 食べることが一番大事だということを伝えたい



日本の未来を育てる
学校給食



OK's DELICA .INC

パーソナルブランディング



“日本一の弁当屋”のおかん

杉本香織の
お弁当応援団



BIG VISION



「Food is Life」を 桑名から日本全国
そして世界へ